



## 持続的成長の実現へ向け、グローバル展開を見据えた 新事業・新市場の開拓を加速させていきます。



代表取締役社長  
櫻井 醜

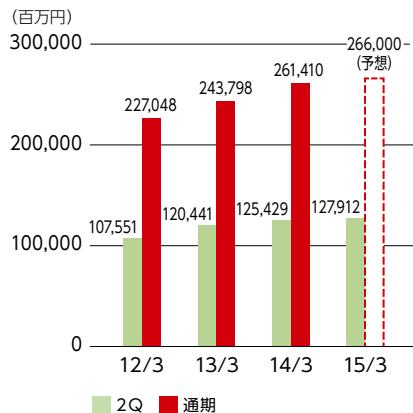
株主の皆様には平素より格別なご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。第61期第2四半期（2014年4月1日～9月30日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用情勢に改善の兆しが見られましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しの動きが鈍く、また海外景気の下振れリスクもあり、不安定な状況で推移しました。

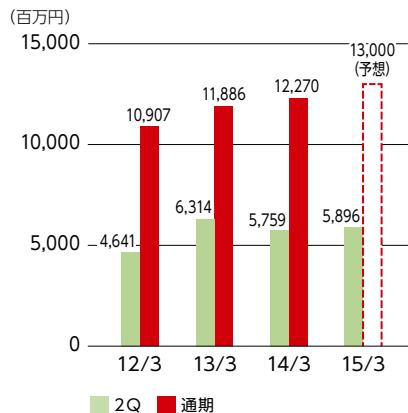
ビジネスフォーム業界におきましては、企業の経費削減の徹底による価格低下やIT化・ネットワーク化の進展に加えて、原材料価格や物流コストの上昇などにより、引き続き厳しい経営環境となりました。

また、個人情報漏えい事件などの影響もあり、情報セキュリティー対策の重要性がさらに高まりました。

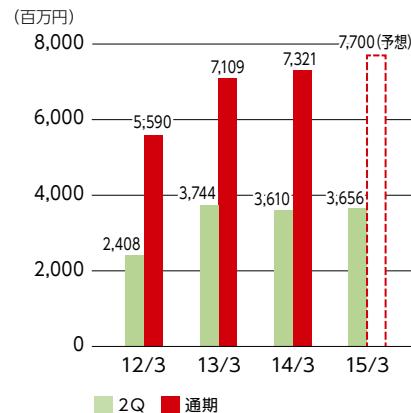
### 売上高



### 営業利益



### 当期純利益



## ものづくりからサービス領域への拡大

このような状況の中、当社グループは価値創造型企業への変革を基本方針として掲げ、「強い現場力」「圧倒的な差別化」「強固な財務基盤」「社会に評価される企業」を重点経営目標として設定し、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期は、売上高が1,279億円(前年同期比+2.0%)、営業利益が58億円(同+2.4%)、経常利益が63億円(同+1.7%)、純利益が36億円(同+1.3%)となり、前期までの3期連続増収増益の流れを継続し、増収増益を達成することができました。

なお、セグメント別では印刷事業が売上高992億円(同+3.0%)で増収増益、商品事業が売上高286億円(同-1.4%)で減収増益となりました。

厳しい経営環境の中で堅調な業績を継続できている最大の要因は、当社がビジネスフォーム、DPS\*の領域で培ってきた強みを活かし、その周辺であるBPO\*\*の領域に打って出てきたことです。当社の事業領域はビジネスフォームの印刷というものづくりの世界から、その周辺を取り込んだサービス領域へと確実に広がっています(図1)。

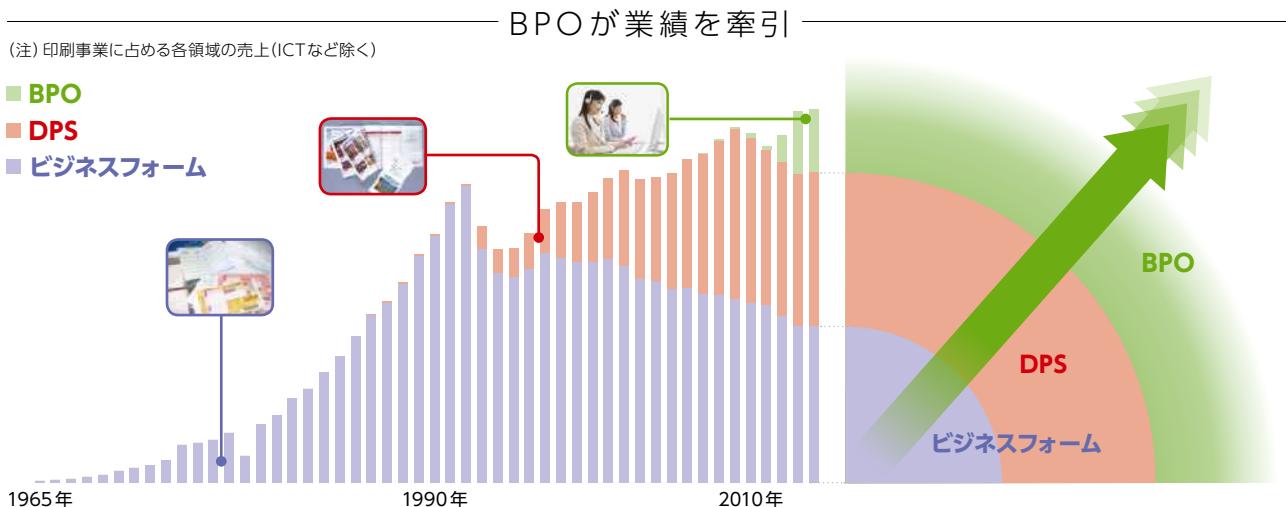
\*DPS：データ・プリント・サービス

\*\*BPO：ビジネスプロセスアウトソーシング

## 最高水準のセキュリティー体制を武器に、新たなビジネスモデルを

この変革をスピードアップするために、当社は、株式会社ジェイ エスキューブの買収(2013年4月)やBPOの新拠点となる日野センターの新設(2013年10月)など、将来へ向けた積極的な投資を進めてきました。

## ■ 増収増益の要因 (図1)



ビジネスフォームの印刷というものづくりの世界から、その周辺を取り込んだサービス領域へ

また、この3年間は製造拠点の再編とデータセンターの整備にも集中的に取り組んできました。製造再編では、2011年3月期時点で全国に40拠点あった工場を2014年5月までに26拠点に集約しました。その結果、コスト面はもちろん、BCP（事業継続計画）や品質面においても、さらなる差別化を図るための基礎が整いました。また、歩留まり率の改善や生産効率の向上などの原価低減に向けた取り組みを徹底し、前期から来期までの3年間で100億円のコスト削減を行うという目標の実現に向け、着実に歩みを進めています。

データセンターの整備では、セキュリティー体制強化のために凸版印刷と共同で立ち上げたグループ・データセンターが2014年9月に本格稼働を始めました。情報セキュリティーに対する世の中の意識は確実に高まっています。先手を打って整備した最高水準のセキュリティー体制を武器に、新たなビジネスモデルの構築を進めてまいります。

### 新たな機能を組み込んだ 循環型のビジネスモデルを構築

その具体例のひとつが図2に示したビジネスモデルです。得意先からお預かりしたデータを処理し、紙やWeb、eメールなどのさまざまな媒体を使ってエンドユーザーに安全・安心かつ確実に通知するという従来のトッパンフォームズの強みに、事務局対応や書類のスキヤニング、データ入力、さらにはその過程において発生するデータの収集、分析といった新たな機能を追加することで、それまでの一方通行ではなく、循環型のビジネスモデルを構築し、さらなる成長を目指します。

これらの取り組みにより、ベースとなる印刷事業を底上げするとともに、ICT、海外など新たな分野の売上を大きく伸ばすことで、持続的な成長を実現してまいります。



日野センター



大阪桜井工場



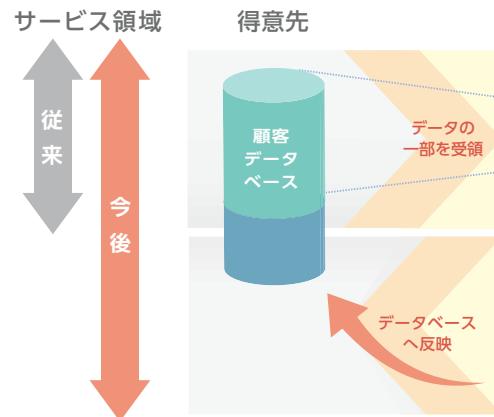
滝山工場



※写真はイメージ

トッパングループ・データセンター

### トッパンフォームズの方向性 (図2)



**ダイバーシティを優先順位の高い経営課題と捉えた積極的な取り組み**

また、さまざまな価値観が共存し、グローバル化が進展する今、自社だけが成長し、社会や個人が取り残されるようなことがあってはなりません。当社では、全てのステークホルダーに対して社会的責任を果たしていくという基本的な認識のもと、部門ごとのテーマを設定し、CSR活動を推進しています。

特に、少子高齢化による人口減少や国内外のグローバル化の進展などに伴い、多様化する市場への対応も含め、ダイバーシティを活かす施策の推進を優先順位の高い経営課題と捉えており、その中でも女性の活躍推進に積極的に取り組んでいます。2014年3月に「ダイバーシティ経営企業100選」「なでしこ銘柄」の両方に選出されたことは、これらの活動の成果のひとつであると考えています。

2015年6月に当社は創立50周年を迎えます。この記念すべき節目に向け、新たな成長のための基礎固めに取り組んでおり、今まさにその総仕上げに取り組んでいます。個人情報取扱事業者として得意先からの信頼を揺るぎないものとするため、情報管理体制を一層強化していくとともにコンプライアンス、内部統制の強化などの課題につきましても積極的に取り組み、企業倫理を高める活動を継続的に推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長

櫻井 醜

循環型のビジネスモデルを構築

トッパンフォームズ

エンドユーザー



将来を見据えた積極的投資により、循環型のビジネスモデルを構築

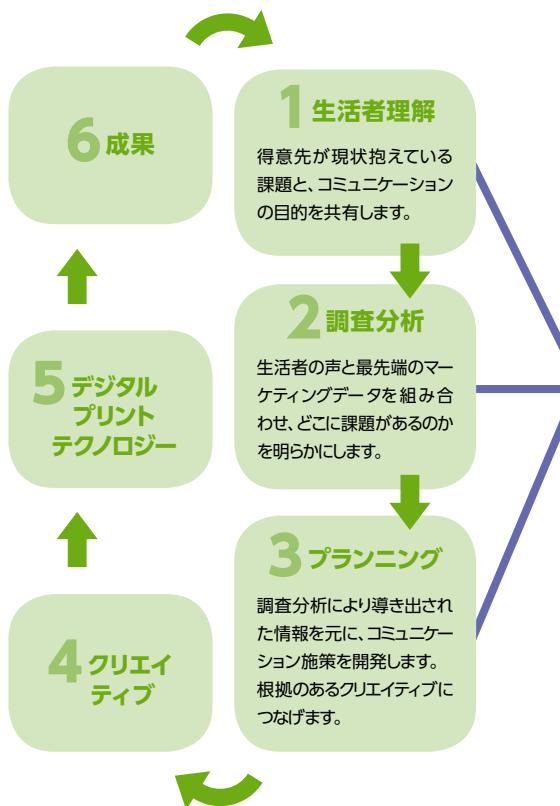


## 顧客とのコミュニケーションを科学するLABOLIS

トッパンフォームズが提供するビジネスフォームやダイレクトメールは他社のものとは違う特色があります。その差別化の鍵となるのがLABOLIS（ラボリス）。独自の情報や科学的ツールを用いたサービスにより、お客様とともに最適なコミュニケーションツールを創り出しています。LABOLISは

laboratory（研究）のLABOとlistening（聴く）のLISを組み合わせた造語で、ターゲットとなる生活者を研究し、その声を聴くという意味を込めています。「みんなの声ラボ」「さいえんすラボ」「伝えるラボ」の3つの機能を組み合わせ、受け取り手の心をつかむコミュニケーション方法を導き出します。

### ■ トッパンフォームズのデザイン改善ソリューション



**LABOLIS**  
FOR PERSONAL COMMUNICATION

### みんなの声ラボ

生活者の実態を「生の声」を通して調査・研究。生活者を基点とした戦略立案に貢献します。

- DMライブ러리
- 生活者調査
- テキストマイニング

DM 라이브러리所蔵資料(一部)

### さいえんすラボ

視線計測やバイオメトリクスなどの生体反応調査やデータマイニングを駆使し、生活者行動を科学します。

- ユーザビリティ調査／視線計測調査
- 顧客データ分析
- エリアスタイル

視線計測調査の様子

### 伝えるラボ

企業のメッセージを最適な形で具現化し、生活者へ企業の思いを伝えます。

- ヒューリスティック評価(専門家分析)
- ユニバーサルデザイン(UD)

カラーUDツール

## ICT

## 印刷の枠にとらわれない新事業・新サービスの創造

## 専用端末に縛られることがない「シンカクラウド」

nanaco\*や楽天Edy\*\*など、複数のブランドに対応した電子マネー決済プラットフォームの「シンカクラウド」は2014年4月から楽天Koboスタジアム宮城でも採用され、スマートフォンを決済端末に利用したビール販売などが行われています。今後も、屋外イベントや運輸・宅配サービスにおける決済手段など、幅広い分野での導入が期待されます。



Koboスタジアムでの決済シーン



決済イメージ

\*「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。  
\*\*「楽天Edy(エディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

## 電子化のニーズに応えた「ファストショット」

新生銀行様と共同開発した「ファストショット」では、スマートフォンのカメラ機能を使って本人確認書類と届出印の印影を電子的に送付するため、口座開設申請書への記入・捺印や、書類郵送の手間を省くことができます。大手の生命保険会社や信販会社での採用も決まっており、今後も電子化のニーズに対する積極的な取り込みを推進していきます。



「ファストショット」

## 商品

## 高機能保冷剤「メカクール」が復興支援にも貢献

東北地方の復興のため、復興庁が主催したビジネスコンテスト「リバイブ ジャパンカップ」において、当社が開発した高機能保冷剤「メカクール」や輸送中の温度履歴を記録するセンサータグなどを活用した『水産版カンバン方式 魚介類の高鮮度維持輸送システム』が、ビジネス部門の大賞を受賞しました。

水産物の流通に最適な温度が維持され、環境に配慮しつつも高品質かつ安価に輸送することができ、東北地方の漁業や農業の復興スピードの加速に貢献します。

また、大手運輸会社の保冷システムにも「メカクール」が採用されるなど着々と実績を上げています。

大賞を受賞した高鮮度維持輸送システム  
「大槌復興絆便」

## 中国、ASEAN地域での事業拡大を目指して

トッパンフォームズグループは中国・華東地域を中心に事業を展開している浙江茉織華印刷有限公司（以下、茉織華社）と連携し、香港、上海の現地法人を核とした現地営業体制の強化と中国市場の深耕を図るとともに、シンガポールやタイの拠点  
をベースにASEAN地域での事業拡大を進めています。

海外事業の直近3年間の業績はほぼ全ての現地法人において対前期比で増収増益を達成しています。

この要因のひとつとして、2010年4月に国際事業部の本部機能を東京から香港に移管したことが挙げられます。現地に近いところで事業運営を行うことで、東京本社および

アジア各国間での連携を強めながら、スピード感を持って事業を展開してきたことが効果を表し始めています。

現状6%程度の海外売上高比率を10%まで高めるのが直近の目標です。5年以内に達成できるように注力し、連結業績に貢献させていきます。

### ■ トッパンフォームズグループの強み

#### 現地化

全ての海外子会社のトップに現地の人材を登用しています。当社のお客様は現地企業が90%を占めますので、自国のやり方に精通している現地経営者というのは非常に心強い存在です。長い時間をかけてお客様との信頼関係を構築できる点もメリットとして挙げられます。このような現地の人材を中心とした経営体制をこれからも徹底していきます。

#### ワンストップ体制

アジア各国においては、当社のビジネスに直接的に競合する会社は存在しません。ビジネスフォーム、DPS、カード、BPO、ITデータベース管理とそれぞれの領域ごとに競合は存在しますが、当社のように一連の流れをワンストップで商品やサービスとして提供できる企業は他にありません。

#### セキュリティ体制

トッパンフォームズグループの最大の強みといえるのが、高度なセキュリティー体制を構築している点です。各種ステートメント類のプリント受託や、クレジットカードやキャッシュカードの製造といった極めて機密性の高い情報を扱う分野において、私たちは得意先や政府機関が求める受託環境や、各銀行・クレジットカード会社が設けている審査基準を高いレベルでクリアできる体制を整えています。

■ トッパンフォームズグループの  
アジアでの存在感



上海の印刷会社との資本提携

2013年には中国・浙江省の印刷会社である茉織華社と資本業務提携を行いました。茉織華社は、運輸伝票をはじめとするビジネスフォーム印刷の現地におけるリーディングカンパニーです。今後は、当社の製造ノウハウや技術力を導入し、上海・華南を中心に事業拡大を図っていきます。

ASEAN地域進出の要となるタイ現地法人

タイのデータ・プロダクツ・トッパン・フォームズ社では前期から、国民IDカード案件を受注。このような国家レベルのプロジェクトを受注できた要因は3つあります。①タイ政府との間で築いている信頼関係、②タイ市場における当社の知名度の高さ、③高い品質と価格競争力です。タイを戦略的な拠点として、信頼できるパートナー企業とのアライアンスにより徐々に生産拠点を整備していき、事業の安定成長を実現していきます。

# 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	106,023	105,959
固定資産	101,981	100,808
有形固定資産	73,209	72,190
無形固定資産	5,264	5,311
投資その他の資産	23,507	23,307
資産合計	208,004	206,768
<b>負債の部</b>		
流動負債	48,677	44,200
固定負債	4,018	7,351
負債合計	52,696	51,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本	152,582	152,269
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,270	9,270
利益剰余金	136,478	136,166
自己株式	△4,916	△4,916
その他の包括利益累計額	2,087	2,303
少数株主持分	638	643
純資産合計	155,308	155,216
負債純資産合計	208,004	206,768

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>125,429</b>	<b>127,912</b>
売上原価	99,894	102,020
売上総利益	25,534	25,891
販売費及び一般管理費	19,775	19,994
<b>営業利益</b>	<b>5,759</b>	<b>5,896</b>
営業外収益	565	607
営業外費用	109	181
<b>経常利益</b>	<b>6,215</b>	<b>6,323</b>
特別利益	128	96
特別損失	665	477
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>5,677</b>	<b>5,942</b>
法人税等合計	2,077	2,265
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△9	20
<b>四半期純利益</b>	<b>3,610</b>	<b>3,656</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,971	7,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,804	△2,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,336	△1,564
現金及び現金同等物の期首残高	42,204	37,681
現金及び現金同等物の 四半期末残高	33,155	40,684

会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03) 6253-6000(ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株
従業員数	1,875名

当社の主要な事業所 (2014年9月30日現在)

本社	東京都港区東新橋一丁目7番3号	
事業所	営業統括本部・東京事業部	(東京都港区)
	製造統括本部	(東京都港区)
	東日本事業部	(宮城県仙台市)
	中部事業部	(愛知県名古屋)
	関西事業部	(大阪府大阪市)
研究所	西日本事業部	(福岡県福岡市)
	中央研究所	(東京都八王子市)

役員 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長	櫻井 醜	取締役	伊藤 博史
取締役副社長	前田 幸夫	取締役	内田 聡
専務取締役	増田 俊朗	取締役	福島 啓太郎
専務取締役	森 茂孝	取締役	丘 明陽
常務取締役	亀山 明	取締役	岡田 康宏
常務取締役	福嶋 賢一	常任監査役(常勤)	大塚 潔
常務取締役	坂田 甲一	監査役(常勤)	堀 喬一
取締役	足立 直樹	監査役	木下 徳明
取締役	金子 俊明	監査役	佐久間 国雄
取締役	浜田 光之		

株主 (上位10名)・株式分布状況 (2014年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	60.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,789	7.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,233	2.9
トッパンフォームズグループ従業員持株会	2,394	2.2
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,796	1.6
エバーグリーン	1,198	1.1
カセイス バンク ルクセンブルグ クライアント アカウント	953	0.9
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	733	0.7
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	620	0.6
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	581	0.5

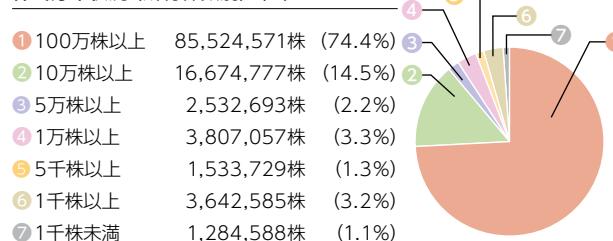
(注) 1. 当社は自己株式4,003千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (所有者別) (%)



株式分布状況 (所有株数別) (%)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.toppan-f.co.jp/">http://www.toppan-f.co.jp/</a> ) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711(通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所
証券コード	7862

### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社等が受付窓口となります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物等の発送・返戻、未受領の配当金等につきましては三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要があります。

## トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号  
<http://www.toppan-f.co.jp/>



トッパンフォームズグループは、  
2015年6月1日に創立50周年を迎えます。